

塗装後の補修方法

木材化学品研究所

木材塗料の耐久性は使用した木材による違い（種類や含水率）や施工場所の環境によって違ってくる。

また、木材が地面と平行の部分では直角の部分より倍の環境の厳しさがある。

欠点が見えたらできるだけ早く補修すると、その時点では木材も平衡含水率になって落ち着いているのでその後は長持ちする。

ランバーSTN で数年経過して部分的に欠点が出た場合の補修方法は、その時の状態によって違ってくる（下記の通り）

1, 角面等からの塗膜の剥離があり、下地が変色、汚れが無いまたはすくない場合

- ・剥離部分の塗膜に刷毛でラッカー薄め液を塗布する
（ホームセンターで販売しているアサヒペンやニッペのラッカー薄め液）
- ・数秒で塗膜の樹脂が溶け、そのままにしておくと木材に接着し元の状態になる。
（ヘラなどで軽く押ししても良い）
- ・溶けにくい場合はもう1度塗る（補修、初期段階の場合）

2, 塗膜が剥離または浮いてその部分の木材が汚れ、カビ等があつて黒くなっている場合

- ① 剥離または浮いた部分の塗膜を剥がす。
 - ・剥がしにくい部分はラッカー薄め液または塗料剥がし液（ホームセンターで販売）を刷毛等で塗布する。
 - ・数秒で塗膜が軟化、溶解または膨れ上がってくるので、木ベラ、金ベラ等ですばやく剥がす。
 - ② 洗浄
 - ・剥がした後に剥がし液が残らない様、水で充分洗うか、ウェスなどで充分水拭きする。
 - ③ 漂白
 - ・汚れ、カビが残っている時は木材漂白剤で漂白し、カビ、汚れをなくす。
（ホームセンターで販売している塩素系カビ取り 兼 漂白剤
ジョンソン(株)のカビキラー、スプレータイプなど）
 - ④ 水洗い
 - ・漂白後、水洗いする（残ると木材を傷める）
 - ⑤ 充分乾かしてからランバーSTN を2回以上塗布する
（塗布前、木材表面が荒れていたら紙やすりで塗布する）
- 他の部分との色の差がある場合は、
ランバーSTN とごく少量の水性の着色塗料と混ぜて色を合わせても良い。